図書教材新報

Books teaching materials magazine

Vol.237

今月の特集

①教材活用シリーズ　薄くて、軽くて、スモールステップ！（P.４～５）

②販売店向けＷｅｂ発注システム「図書教材ネット」のご紹介（P.６～７）

図書教材新報
Books teaching materials magazine

2025.1.25 Vol.237（total 1866号）
1956年1月5日 創刊　毎月25日発行

次期学習指導要領の審議に望むこと

一般社団法人日本図書教材協会会長

辻村　哲夫

昨年、文科省の有識者会議から今後の教育課程等の在り方に関する「論点整理」が公表された。

この「論点整理」を踏まえて、今年は中教審で次期学習指導要領の審議が始まる。「論点整理」でも多岐にわたる教育課題が挙げられているが、中教審には特に増え続ける不登校児童生徒の問題を直視した審議を望みたい。

このことを指摘するのは、昨年文科省の１県３市を対象に実施した委託研究でこれまで不登校の主な要因が「無気力・不安」とされてきた児童生徒のうちの相当数が、「授業が分からない」「宿題ができない」「成績が下がった」ことなどが不登校のきっかけになったと回答していることが明らかになったからである。

これまで教師の判断のみに頼ってきた要因分析が、児童生徒の生の声を直接聞くことでより具体的なものになり、この問題への学校の取組みもより明確になった。今回の委託研究は大変意義深いものと言えよう。

学校に通うのは、知識・技術等将来の「生きる力」を育むためである。言うまでもなく授業はそのためのものだ。それが「分からない」のでは学校に行きたくなくなるのは、ある意味当然の帰結と言えるのではないか。

今日いじめや校内暴力の問題も深刻だが、その大きな要因に、実は不登校と同様「授業が分からない」ことがあるのではないか。

「授業が分かる」ためには、もちろん本人の努力が必要だが、分かる指導も重要である。

その授業の内容の基準となる学習指導要領の重要性は言うまでもない。しかしその議論は、とかく理想を追って学習内容を過大にしがちである。学習内容の量も程度も適切でなければならない。中教審には、児童生徒の学びの実態を十分に踏まえた審議を望みたいのである。

新学習指導要領の下、指導に学習に努力する学校・教師・児童生徒に我々も良い教材を提供してしっかりと応援していきたい。

日・全 大きく変わる教育政策のなかで学校用教材の価値・役割、学校による主体的な教材採択の重要性を発信、文部科学省との関わりを深める

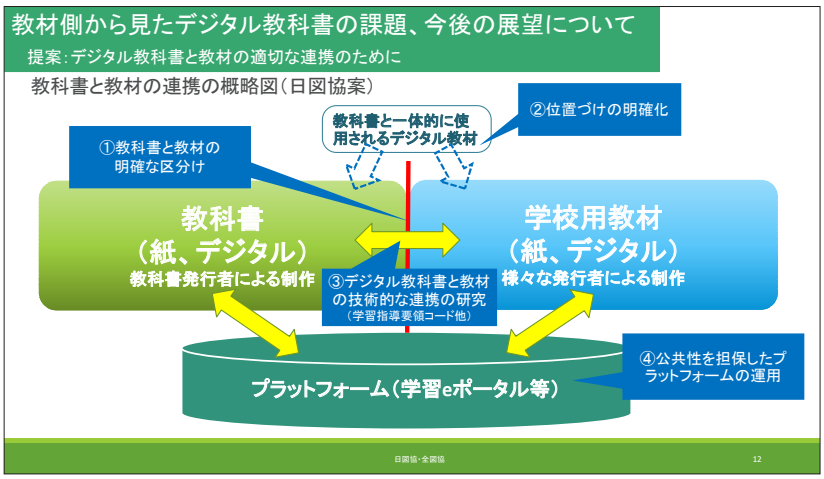
日本図書教材協会、全国図書教材協議会では、教育政策が大きく変わるなか、文部科学省（文科省）とのさまざまな形で関わりを深め、学校用教材の価値・役割を発信している。ここでは、最近の文科省との関わりとして、文科省有識者会議での発表、委員参加を紹介する。

◇教育データ利活用に関する有識者会議での発表

昨年9月20日の会議において、日図協・全図協渡部竜士専務理事より、学校用教材の概要として、加盟各社では紙とデジタル双方の特長を活かした学力の定着と個別最適・協働的な学びを進めている旨の説明や、教育データ利活用における3つの提言（デジタル学習環境における良質で多様な教材が供給できる環境づくり、学校による主体的な教材選択、デジタル学習環境におけるアナログの位置づけとアナログデータを活用した教育データ利活用）を発表した。

◇デジタル教科書推進ワーキンググループでの発表

11月21日の会議において、渡部専務理事より、教科書と教材の役割や連携の現状と課題の説明のほか、今後の展望として、デジタル教科書と教材の明確な区分け、教科書と一体的に使用されるデジタル教材の位置づけの明確化、デジタル教科書と教材の技術的な連携の研究、



（デジタル教科書推進ワーキンググループでの発表資料より）

業界・協会ＮＥＷＳ

日：日本図書教材協会　全：全国図書教材協議会　学：日本教材学会

公的なプラットフォームの運用、学校による主体的な教材選択の５つを提案した。

◇初等中等教育におけるシステム間連携のための相互運用標準モデルに関する専門家会議への委員参加

学習ｅポータルの技術・運用指針を検討する本会議では、これまで日図協・森達也副会長が委員として参加していたが、今年度は渡部専務理事が委員として参加し、学習ｅポータルの公共性を担保した運用などを提案している。

＊　＊　＊　＊　＊

12月10日　日 小学校営業部長会を開催

小学校営業部長会（幹事長・田代和彦正進社営業部次長）では、第２回部長会を金沢市「石川県教育会館」で開いた。

上：小学校営業部長会
下：中学校営業部長会

当日は、学校現場のＩＣＴ化に関する情報交換、ブロック小学部会長会議からの要望事項への対応や学校用教材の採用促進のための活動などについて協議した。

12月17日　日 小学校編集部長会を開催

小学校編集部長会（幹事長・北村有司正進社小学編集部課長）では、第３回部長会を「協会会議室」で開いた。

会議では、教著協との協議、共同許諾申請、ＳＡＲＴＲＡＳへの対応、来年実施する学校教材調査会事業の準備、ＩＣＴ化における教材の在り方、文科省への働きかけ、教材の複製や公衆送信に関する問い合わせへの対応、広報活動、校務・採点支援システムへの対応等について状況確認と検討を行った。また、採点支援システムの導入を検討する自治体とシステム会社から仕様について説明を受け、対応を検討した。

12月18日　日 中学校営業部長会を開催

中学校営業部長会（幹事長・辻田吉平秀学社営業統括部長）では、第２回部長会を「協会会議室」で開いた。

当日は、教育現場のＩＣＴ化への対応、「子どもたちのみらいの学びを支えるプロジェクト」企画、全中メルマガの今後の配信、ブロック中学部会長会議からの要望事項等について協議した。

私たちがめざす理想は、全ての子どもにもっと質の高い教育を届けることです。
教育は子どもたちを成長させ、社会の未来を創ります。
教育によって日本の未来を幸せにしたい、世界の未来を幸せにしたい。
私たちは今後も同じ志をもつ人たちと集いながら、
『全ての子どもに、もっと教育を』
の理念を追求し続けます。

みんなにスマイル。
教育同人社

教材活用シリーズ　第176回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などをご紹介します。

薄くて、軽くて、スモールステップ！

㈱学宝社
『使いこなす数学』

㈱学宝社
編集部　数学科

1．はじめに

数学は、日々の生活や将来の仕事、社会のなかで欠かせない考え方を身につけるための大切な教科です。しかし、数学を学習することへの肯定的な意見は諸外国と比べ低く、加えて、小学校から中学校へ移行する際に、数学の学習に対し肯定的な意見の割合が低くなる傾向があるなど、数学を学習することへの意欲面で課題があります。その理由として、数学が、過去に学んだ内容を基盤にして進む積み上げ型教科であるため、以前の単元でつまずくと、その後の学習がますます難しく感じてしまう場合が多いことが考えられます。

弊社数学教材『使いこなす数学』では、このような**「生徒の苦手・つまずき」**に焦点をあてて編集を行っております。さらに今回、これまで以上に学習指導要領の目標に沿った企画を盛り込み、『使いこなす数学』は進化を遂げました。

2．特長

①　2分冊で達成感アップ！

本書は、年間2分冊の上下巻構成となっております。これにより、1冊あたりの厚さ・重さが、通常のワークブックの約半分となり、**生徒の荷物の持ち運びの負担、先生の管理・点検の際の負担を軽減**することができます。さらに、本を1冊やり遂げるという達成感を2度味わえる、1冊が薄いから生徒のモチベーションも上がるというお声をいただいております。

②　小ピッチ構成でやりきれる！

本書の誌面構成は、すべての回が1ページで構成されています。一般的な見開きで1回のワークブックでは、授業を2～3回行わないと取り組めないところ、本書では**「〝毎日〟、授業のふりかえりができる」**ことをコンセプトとして作成しています。授業で学んだことを、時間を空けずに復習することができるので、授業・教科書とシームレスに対応でき、それによって定着率が高くなります。毎日取り組むと聞くと

▲「単元ページ」

ハードルが高く感じられますが、1回1ページなので抵抗なく取り組むことができると考えております。

さらに、冒頭でも触れた「数学は積み上げ型教科」という点に関して、問題を解くのが困難な場合、生徒本人はもちろん先生もどこでつまずいているのかを把握し、フォローする必要があります。ここでも1回1ページの構成が有効に働きます。1回で扱う範囲が細かいため生徒がどこでつまずいているのかを素早く、的確に把握することができるのです。

3．学習指導要領との関わり

①　数学を生活や学習に生かす

「中学校学習指導要領」の数学科の目標には、「数学を生活や学習に生かそうとする態度を養う」ことが記載されており、数学が日常生活や社会生活などその後の人生において必要不可欠なものであり、そのことに気づくことが、数学という教科のよさを実感することにつながります。

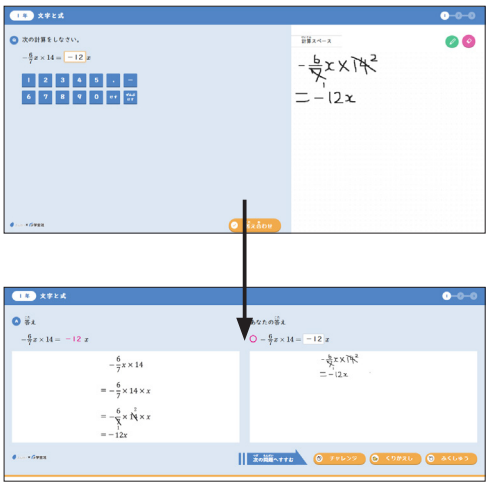
そこで今回の改訂では、各章の章末に「活用問題」と題し、**生徒が数学を身近に感じながら、身につけた知識・技能を活用して取り組むページ**を追加しました。題材は、生活に関わることをベースに、教科横断的な内容や公式を自分で導くなど、生徒に数学のよさを感じてもらえるようなものを厳選しました。

▲「章のまとめ STEP 3活用問題」

②　主体的・個別最適な学び

近年、教育現場におけるデジタル端末の導入・活用は急速に進んでいます。本書でも生徒一人ひとりの学びの質を上げるために、動画解説に加え、「3問チェック」という個別最適な学びが可能なコンテンツに取り組むことができます。

「3問チェック」は、「数と式」領域のドリルページから取り組むことができるデジタルドリルです。生徒は計算問題に3問取り組みますが、1問毎に「チャレンジ」、「くりかえし」、「ふくしゅう」の3段階の評価を行うことで、次の問題の内容・難易度が変わるシステムとなっております。これにより、数学が得意な生徒も苦手な生徒も自分のレベルに合った問題を選択することができ、また自分の学習到達度を評価しながら取り組むことができるので、**主体的かつ個別最適な学びが可能なコンテンツ**となっております。



▲「3問チェック」画面
※画面は開発中のものです

4．おわりに

これまでご紹介してきた通り、本書は、積み上げ型教科である数学の学習の過程において生じるつまずきを、迅速に把握できる仕組みを備えております。また、2分冊、小ピッチというスモールステップで達成感を味わえる構成となっており、生徒の学習意欲を刺激する教材ともなっております。

さらに、本書は単なる知識・技能の習得にとどまらず、生徒が主体的に思考し、問題解決力を養うことにも力点を置いております。本書をご活用いただくことで、生徒の皆さまが自らのペースで着実に学びを深め、数学に対する理解を一層高めていただければ幸いです。『使いこなす数学』を通じて、生徒の皆さまの学びが実り多きものとなることを願っております。

【②発注画面のイメージ】

お申し込み、お問い合わせはこちら

お申し込みをご希望の方は、協会ホームページ（https://nit.or.jp/）の「会員の方へ」（パスワード：kagura6）⇒「販売店向けＷｅｂ発注システム」から仮申し込みを行ってください。

（社）日本図書教材協会　担当：宍戸、岡嶋

【③導入のメリット】

その１　全出版社一括で発注が可能！

ＦＡＸによる発注と異なり、各出版社毎に発注書を振り分ける手間がかかりません。

その２　マスタの入力や更新の負担ナシ！

あらかじめ発注に必要な商品マスタや学校マスタが一括管理で登録されています。

その３　自社の販売管理システムなどに活用！

発注済のデータはすべて保存されており、またデータ出力ができるので、加工して自社の販売管理システムなどに活用できます。

その４　どこでも発注！　複数台での同時発注！

パソコンとインターネットがつながる環境があれば、どこでも発注ができます。また複数台による同時発注も可能です。

＜新学期に向けた主なシステム改修＞

出版社への発注メモの文字数の増加

出版社への発注メモの文字数を最大 15 文字から 30 文字に増加！　より細かいニュアンスの伝達が可能になり誤発注の防止に！

小学校継続発注機能の改善

前期の注文検索時における学年指定が、複数学年指定可能に！　全学年一括での検索も可能となり、利便性がさらに向上！

秀学社｜2025年度発行の英語教材

手と耳で覚える
1年生のための 単語帳

- 予習や復習、長期休みの課題に！
- 中学校の新出単語と小学校単語を学習できる！

デジタルドリル付き

新刊 350円（税込）
東京書籍版、光村図書版、開隆堂版、三省堂版
仕様／B5判・80p・2色刷り

入試対策用

自由英作文問題の得点力UP問題集

何を書けばいいかわからない
語数が多すぎて書けない

- 苦手でも取り組みやすいていねいなステップ！
- 入試の改題で実践力をつける！

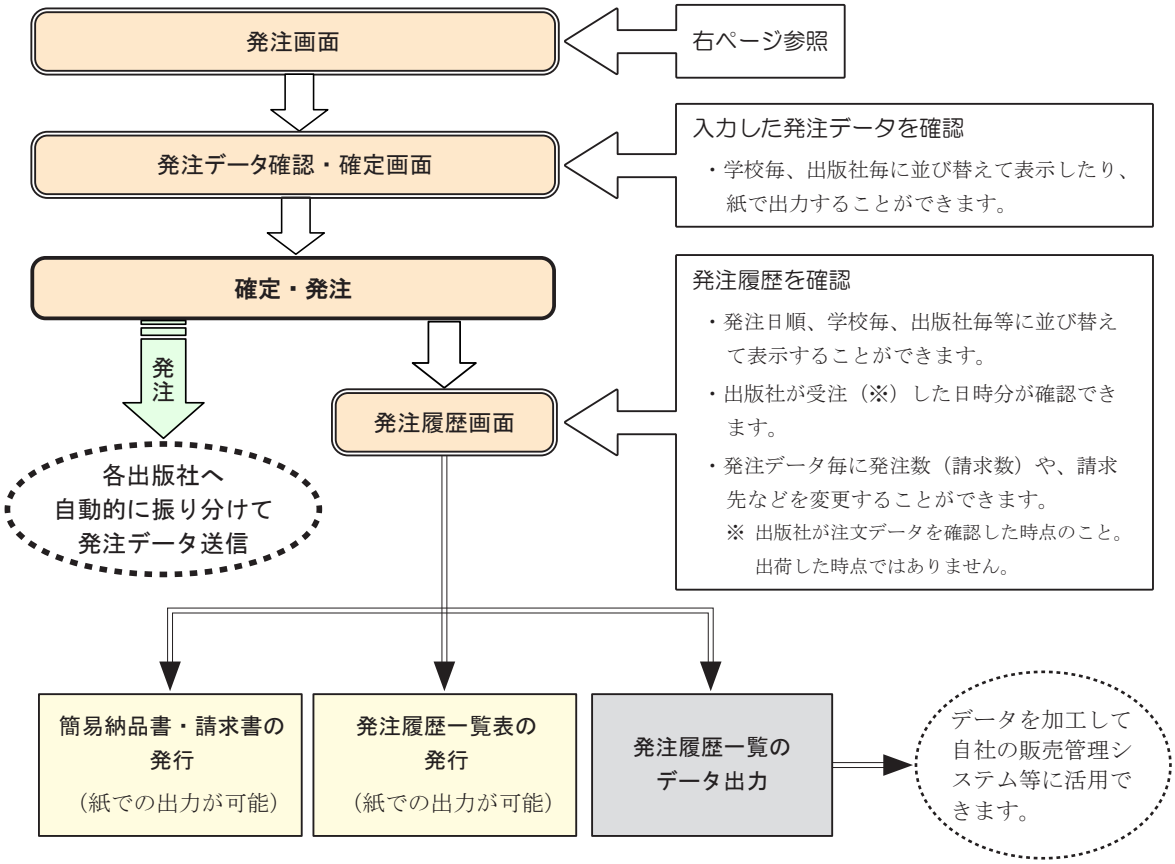
新刊 330円（税込）
標準版
仕様／B5判・24p・フルカラー

販売店向けWeb発注システム「図書教材ネット」のご紹介

業務の効率UPに！

日本図書教材協会では、販売店向けＷｅｂ発注システム「図書教材ネット」を無償提供しています。
新学期発注に向けて、より多くの販売店にご利用いただけるよう、システムをご紹介します。

【①機能概要】



１年間の総復習がこの一冊で完成！

がっちり シリーズ
1年のふり返り
2年のふり返り
各5教科

定価(税込)各360円
A4判　カラー　32ページ
縮刷型詳解書・実力テスト・解答用紙
教師用CD-ROM

信頼をつちかい 学びで未来をひらく
株式会社 浜島書店
〒466-8691 名古屋市昭和区阿由知通2-1-1
TEL 052-733-8040(代)　FAX 052-733-8977
http://www.hamajima.co.jp/

各種制度のご紹介

全図協では、販売店の経営や業務に関わる制度をご提供しています。
ここではそれぞれの制度の概要を簡単にご紹介します。

◆従業者が事故で入院してしまった…

生命共済制度

・従業者1人ずつ無審査で加入ができます
・死亡や障害、事故による入院時に保険金・給付金を支給します
・剰余金が生じた際は、配当金として返還します

3つ揃えば自社の経営や業務も安心！！

◆台車で校舎を傷つけてしまった…
搬入中に子どもにケガを負わせて
しまった…

総合補償制度

・学校内で生じた対人・対物事故と、集金時や事務所に保管していた現金盗難に対する制度です
・図書教材に限らず、学校へ納入したすべての商品に関わる事故を対象としています

◆従業者の福利厚生を充実させたい…
優秀な人材を確保したい…

福利厚生制度

・グルメや旅行、スポーツクラブなどさまざまなサービスを取り揃えています
・従業者だけではなく、ご家族も同条件でご利用いただけます
・全図協特例割引適用で通常会費より10%お得！

各種制度に関するお問い合わせ・お申し込みは、全図協事務局までお願いします。
なお、詳細は協会ホームページ（https://nit.or.jp/）の会員ページ（パスワード：kagura6）にパンフレットのデータを掲載していますので、そちらもご覧ください。

お問い合わせ・お申し込み先 ⇒　TEL 03-3267-1041　担当：宍戸、岡嶋

‖都道府県協会　会員だより‖

☆代表者・商号・住所変更のあった会員☆

〈代表者変更〉

秋田県…㈱スダキ商事（由利本荘市）
新代表・須田幸喜

大阪府中学…つつみ書店（東大阪市）
新代表・吉田一樹

編集後記

昨年末、2024年の出生数が70万人を下回り、調査開始後最少となる見込みとの報道がありました。2年前の編集後記でも2022年の出生数が80万人を下回り…といったことを書いておりましたが、たった2年で出生数が10万人も少なくなることに驚きを隠せません。この少子化の流れはいったいどこまで続くのでしょうか。

少子化については我々に限らず日本全体の課題ではありますが、そのなかでも学校教育に関わるこの業界は、より直接的に影響を受けるかもしれません。

もちろん少子化だけではなく、ICT化や教材費の保護者負担軽減など喫緊の課題は山積していますが、年も替わり気持ちを新たに出版社、販売店のみなさんと一緒にこの難局を乗り越えていけるよう一歩ずつ着実に取り組んで参ります。

（S）

発行所　一般社団法人日本図書教材協会　編集人　宍戸亮太・新井啓美　発行人　渡部竜士
〒162-0831 東京都新宿区横寺町64-2
TEL 03-3267-1041